

『限られた中にごそ輝くもの』

教頭 矢嶋 真行

11月1日(日)に本校の一大行事である豊高祭が終了しました。保護者、地域の皆様など多くの方々にご来場いただきお礼申し上げます。毎年この豊高祭には、生徒のみなさんに短い期間の中で取組んでもらっています。限られた条件で思い通りにいかないことが多い中、生徒のみなさんが互いに助け合い、高い協働性を発揮したことで、豊高生にしかできない豊高祭になりました。

この前、NHKのテレビ番組『逆転人生』で、ダンサーである大前光一さんの「逆転人生」が紹介されていました。大前さんは、高校1年生からクラシックバレエを学び、芸術系の大学に進学してダンスの技術に磨きをかけました。24歳のときにプロダンサーとして活動を始めましたが、交通事故により左膝の下から脚を切断し、大前さんは将来に絶望しました。義足をつけてダンスの練習を続けたものの、左脚を失ったハンディは大きく、思い通りにならない現実にもがき続けました。そうした中、世界的な活躍をしているあるダンサーからの「事故のことは君の武器になる」と

いう言葉から、片足がない自分だけにしかできない表現を極めました。リオデジャネイロでのパラリンピック閉会式や2017年のNHK紅白歌合戦で、大前さんは独創性の高いダンスを披露し、その表現力は人々を魅了し大きな反響を呼びました。失ったことやできなくなったことがある一方で、そのような自分にできることが、自分にしかない「武器」になったり、自己を最大限に輝かせていると言えます。

豊高祭を通して、生徒のみなさんは不十分な条件の中から、自分たちにできることを考え、自分たちにしかできないものを創り出す貴重な学びをしました。この学びは、できないことが増えたコロナ禍に向き合っている社会に立ち向かうだけでなく、私たちの郷土対馬の将来を支える大きな力に結びつきます。この学びを心に刻んで自分を輝かせ、今後充実した日々を送ることを切に願います。



地域清掃10月6日(火)

今年度は天候にも恵まれ、地域清掃を実施することができました。今回は、学年ごとに豊玉小学校方面、巖原方面、峰方面へ分かれ、清掃を行いました。普段は、車やバスで通学することが多いですが、歩いてみると予想以上にごみが多く、袋いっぱいにごみが集まりました。清掃中、温かいお声かけをいただいた地域の皆様、有難うございました。これからも豊玉高校は、地域への貢献を進めていきます。



PTCA除草作業10月10日(土)

台風14号の影響が心配されましたが、今年度2回目の除草作業を実施することができました。作業開始時は、曇り空で風も冷たく感じましたが、皆さんの熱意が届き、途中から日差しが出て、穏やかな天気となりました。優勝は3年生でした。隅から隅までの細かい作業、そして保護者の方と協同して取り組む姿、大変素晴らしかったです。おめでとうございました。また、今回ご参加いただいた保護者の皆様、豊玉高校支援会議の皆様有難うございました。次の除草作業は来年度を予定しております。ぜひ、次回もご参加くださいますよう、よろしく申し上げます。

《お知らせ》

11月20日(金)『強歩大会』を行います。

11月26日(木)～12月1日(火)は期末考査です。



豊玉高校ホームページ

検索 豊玉高校

<https://www2.news.ed.jp/section/toyotama-h/>

豊高祭

11月1日(日)、パールドームにおいて第44回豊高祭を行いました。「今こそ豊高の絆が満ちるとき〜見つけよう64人の個性の光〜」のスローガンのもと、体育祭の部では青ブロックと黄ブロックが手に汗握る戦いを見せてくれました。文化祭の部では各学年や有志参加の生徒たちが見ごたえのある演目を披露してくれました。



体育祭の部



文化祭の部



今年のスローガン、「今こそ豊高の絆が満ちるとき〜見つけよう64人の個性の光〜」のもと、一人一人の個性が光る素晴らしい豊高祭になったと思います。特に記憶に残ったのは、体育祭の部の大縄跳びです。どちらの組も記録を塗り替えていく白熱した展開で、練習では到達できなかった40回を本番で出せたときはとても嬉しかったです。文化祭の部ではそれぞれのクラスや団体が最高のパフォーマンスを披露しました。新型コロナウイルスの影響で心配もありましたが、思い出に残る良い豊高祭になりました。

